群馬県議会
金井やすお　県政報告 Vol.17

金井やすお後援会事務所
〒378-0043
沼田市東倉内町771
TEL 0278-22-2771
FAX 0278-22-2770

地方創生の年 “選ばれるまち沼田へ”

県議会議員 金井 康夫

4月12日の県議会議員選挙を経て、2期目の初登庁。
新たな議員バッジを左胸に「沼田の発展」を誓う

■2期目の抱負は。

5月13日に総務企画常任委員会副委員長に選任されました。この委員会は総務部、企画部、企業局と分かれており、「財政」「地方創生」「企業誘致」を管轄しております。利根沼田が発展するために、スピード感をもって取り組んでいきます。

■今の政治に必要なことは。

将来、この地域がどうなるのかビジョンを掲げ、達成する期間を設けることが必要だと思います。沼田をどのように良くするのか、市民の皆さんに明確に示さなければならないと思います。「いつまでに、こうなるのだ」というゴールを示し、共感を得ることが必要だと思います。

■利根沼田の魅力をどのようにしてアピールしていきますか。

利根沼田は、首都圏から近い位置に有りながら、多くの自然や温泉、農畜産物に恵まれ、地域に根ざした産業も充実しています。また、子供医療費無料化など他県に誇れる施策を行っています。これからは、市町村と連携しながら、利根沼田の優位性を生かした「未来創生」に向けてアピールしたいと思います。

■地方創生についてどのように考えていますか。

アベノミクスの先を読まなくてはいけないのではないでしょうか。沼田でも人口が減り、若い人が減り、大学進学とともに東京で大学生活を過ごしたあと、就職するときも東京の会社で地元に帰ってこない。

こういった現象が全国各地で起こっています。これらのことが地方の人口が減少する大きな要因になっています。

人口が減って、若い人が減って、どうしようという悲観的な声が多く聞かれますが、そろそろ発想を変えなくてはいけないと思います。人口が減って、若い人が減るのは沼田だけの問題ではなく、日本全体の問題となっています。

人口を増やすような魔法の薬は無いわけでありますが、我々の世代がやらなくてはいけないことは、今までのような急激な人口減少を食い止め、人口が減る中でも次の世代に豊かさと活力をどうやったら引き渡せるのかを考えなくてはいけないと思います。

人口が減る中で持続可能である医療、介護、年金、子育てなどの政策のあり方をどうすれば良いのかを試行錯誤しながら、悩みながら、みんなで一緒になって新しいまちづくりをやらなくてはいけないと思います。

■今後について。

私は現在46歳ですが、せいぜい政治の世界、これから頑張っても15年くらいだと思います。そのくらい神経を使う世界です。地方創生と言われている世の中ですが、これからは夢を我々の世代が持たなくてはいけないと思います。大人が夢を持てなくて、子供に夢を持てといっても説得力がありません。政治家が夢を持たなくて、地方自治体に夢のある施策をと言っても説得力がありません。

我々の世代が、ビジョンからアクションまで起こさなくてはいけないのではないでしょうか。

選ばれるまち沼田から、選ばれたまち沼田へとなれば幸いでしょう。企業から選ばれたまち沼田、若者から選ばれたまち沼田、赤ちゃんから選ばれたまち沼田。これから我々の世代は、ご先祖様から与えられた利根沼田の付加価値を使うのではなくて、次の世代に利子を付けて受け渡していくことが重要だと思います。

プロフィール

昭和44年2月16日、群馬県沼田市東倉内町に、父・弘夫、母・はまえの7人兄弟の長男として生まれた。

父がパーキンソン病を患い、平成7年議員を辞職。これをきっかけに、地元からの推薦で市議会議員に立候補。当選を果たす。

当時、26歳であり、群馬県内最年少記録をつくる。

以降、4期連続当選。議員活動の傍ら、16年間父親の介護を行う。

平成19年、若干38歳であったが、沼田市議会議長に就任する。さらに、翌平成20年には群馬県市議会議長会会長、および全国市議会議長会理事の任にも就く。

平成22年、群馬大学大学院に入学し、沼田市の自然と時代を結びつけるには、もっと知識を得なければと奮起し、「自然環境」と「公共政策」の修士を取得。

平成23年、群馬県議会議員に初当選。

平成27年、群馬県議会議員2期目、当選。

今年度はこの委員会で活動します！

総務企画常任委員会

・副委員長に就任いたしました

総務部、企画部、会計局、企業局、選挙管理委員会、人事委員会、監査委員の所管事項など

観光・世界遺産に関する特別委員会

「富岡製糸場と絹産業遺産群」が世界文化遺産に登録され、群馬の観光振興に大きな柱が誕生しました。観光振興を地域振興につなげる好機が到来しています。千載一遇のチャンスをどう生かしていくか。群馬デスティネーションキャンペーンの開催を目指すなど対策を総合的に練ります。

群馬県、プレミアム宿泊券を全国最大の発売枚数で魅力をアピール！

群馬県は、「プレミアム宿泊券」を売り出す方針を５月28日に県議会で明らかにしました。
発行枚数はなんと４５万枚！！

≪予算額≫ 1,530,000 千円

≪使用期間≫ 平成 27 年 7 月 17 日（金）
～平成 28 年 1 月 31 日（日）宿泊分
※ググっとぐんま観光キャンペーン：10 月～12 月

≪発行枚数≫ 45 万枚

≪販売開始≫ 第 1 期：平成27年7月10日（金）※33 万枚
第 2 期：平成27年9月25日（金）※12 万枚

≪発行額面≫ 5,000 円

≪助成率≫ 50%（販売額 2,500 円）

≪購入限度≫ １人 10 枚まで

≪使用限度≫ １泊につき１人５枚まで

≪対象施設≫ 約５００施設（随時、受付）

≪販売方法≫ ①チケット形式　※20 万枚
ぐんまちゃん家、観光キャラバン、県旅行業協会、県観光物産国際協会通販サイト「CASA ぐんま」等
②コンビニ券　※14 万枚
セブンイレブン、ローソン、ミニストップ、ファミリーマート、サークルＫサンクス
③宿泊予約サイトクーポン券　※11 万枚
じゃらん、楽天トラベル、るるぶトラベル

≪広報宣伝≫ 専用ＷＥＢサイト、新聞・雑誌広告、鉄道中吊り広告、ラジオ広告、チラシ作成　等